

日本共産党論戦のあれこれ

2021予算で実現した市民要求

2021予算で実現しました

押印廃止

- ①65歳以上風呂無料券48枚交付受理の押印なしに
- ②マル福(75歳以上医療費無料化)子の照会に押印なし
- ③その他基本的に4月1日から押印廃止
- ④防犯灯LED化(西端地域)200本・全1663灯完了 700万円
- ⑤自転車用ヘルメット購入補助2千円×750件(7~18歳 65歳~)
- ⑥地域猫去勢5千円不妊1万円補助 100万円
- ⑦生産緑地再受付350名・104名が再指定+10.84ha 2月26日~
- ⑧大浜漁港製氷機 県補助4億9490万円(10/7) 5億6490万円
- ⑨川口農業センター男性トイレ改修 78万6千円
- ⑩県営川口揚水場更新2019~2023年まで 7億5千万円
- ⑪国県のコロナ対策事業の申請のため補助 20万円限度
- ⑫生活道路整備 半崎吹上線1953万円、丸山1号300万円
立山2号960万円 計7001万円
- ⑬ボードウオーク照明灯 9基で完成 130万円
- ⑭公園遊具更新 道場山西公園、若宮公園、岬北公園 2297.3万円
- ⑮市営住宅長寿命化 向山屋上防水、踏分公共下水道接続9537.5万円
- ⑯新入消防団員に中型自動車免許取得 30人×26万円 780万円
- ⑰35少人数学級 小学1~3年生 国と県予算
- ⑱GIGAスクール 全小中にタブレット端末 1人1台 機器は国費
- ⑲小学校長寿命化 日進小トイレ改修、新小体育館屋根外壁改修、
西端小体育館外壁、 7730万円
- ⑳中学校長寿命化 西端中体育館屋根外壁 5740万円
- ㉑水族館特別展 515.9万円
 - 夏 生き物たちの攻防戦 7/17~9/20
 - 冬 縁起がいい生き物たち 12/11~1/30
 - 春 骨のおはなし 3/19~5/8
- ㉒美術館企画展 526.3万円
 - いのちの移ろい展 4/29~6/20
- ㉓美術館収蔵庫増設・改修 2023年4月オープン 5億6216万3千円
- ㉔第2排水場長寿命化 2019~2024年完成 総額約15億円
- ㉕マンホールトイレ 東部市民プラザ 大浜小 3344万円
- ㉖市民病院リニューアル(~2022年度)319⇒255床(64床減) 約8億円
- ㉗医師確保修学金 2019~2021年度 延べ15人 1200万円
- ㉘伊勢公園、霞浦公園(東やに机追加)オープン
- ㉙県営鷲塚団地前手押し信号への歩道橋改修 498.7万円
- ㉚新道住宅公共下水接続 820万円
- ㉛城山住宅駐輪場設置 30.8万円
- ㉜西端中廊下天井改修 750万円
- ㉝西端中放送設備改修 490万円
- ㉞中央中公共下水道設読 990万円
- ㉟新川中家庭科室屋上屋根防水 550万円
- ㊱新川幼保育室木質床張替 270万円
- ㊲南プラザ2階トイレ洋式化、屋根改修など 198.3万円



川口トイレ

日鉄ステンレス閉鎖・グラランドホテル休業

3月26日3月議会が終わりました。新型コロナウイルスから市民のくらしや命をどう守るのが焦点の議会でした。

3月6日中日に日鉄ステンレスが2022年3月末に閉鎖。5月1日から衣浦グラランドホテルが無期限の休業となり、コロナの影響を大きく受けている碧南市です。

日本共産党は、こういふときこそ地道に住民要求を実現し温かい施策を進めるべきと、総括質疑や予算審査で公約や市民要求を掲げ実現を求めました。

遅れた碧南市露呈

論戦の中で、碧南市が西三河10自治体の中で大きく遅れていることが明らかになりました。

18歳までの医療費無料化

18歳までの医療費無料化は、やっていないのは碧南市、高浜市、西尾市です。

少人数学級

市独自の少人数学級もやっていないのは碧南市、高浜市、刈谷市です。

非核自治体宣言

非核自治体宣言もやっていないのは碧南市、安城市、高浜市です。

世界に誇る「こころのこころ」

市長は「世界に誇る」と施政方針に書いています。効率最優先で市民も働く人も泣かせる「新自由主義」では幸福になれません。総選挙での政権交代で、コロナに強い地球を守る社会と政治に変革を。

春休みは水族館へ

海浜水族館では今春の特別展「ザ・擬態」をやっています。アフリカから来た「葉っぱのフレディ」のような小さな魚。まあなごはみんな顔をそろえて「密」を満喫。チンアナゴもすみだ水族館に行かなくてもカラフルな碧南版チンアナゴが見れます。気候変動で若者が行動しています。ぜひ科学館で温暖化、食料、脱プラなど取上げて2030年までに地球を守る軌道修正をしたいものです。気候危機は海浜水族館で・・イニシアを

あなたは注目!!

まあなごと

カラフルなチンアナゴ

ここは密

医療破壊の2法案「高齢者医療費2倍化法案」「病床削減推進法案」 コロナに学ばぬ暴走を許すな

医療破壊の2法案

菅義偉政権が医療制度を大きく揺るがす二つの法案を国会に提出し、早期成立を狙っています。75歳以上に新たな負担を強いる「高齢者医療費2倍化法案」と、地域の医療機関の統廃合に拍車をかける「病床削減推進法案」です。新型コロナ危機は日本の医療体制の脆弱（ぜいじやく）さを浮き彫りにしています。その教訓に学ぶなら、国民が安心して医療を受けられる体制の強化こそが、必要なのに、それをいっそう弱体化する法案を出すことは本末転倒です。医療破壊の2法案の強行をやめるべきです。

病院の力をそぎ落とす

衆院で先週審議入りしたのは「病床削減推進法案」です。統廃合や病床（ベッド）数を減らした医療機関に全額国費で「給付金」を出し、削減を加速させる目的です。それを進める財源に消費税の増税分をあてるとしています。

2025年までに20万床減に

社会保障費の大削減をたくらむ政府が盛んに持ち出すのは、病床数が多いから医療を「非効率」にし、公的医療費を「膨張」させているとの言い分です。そのため政府は2025年度までに救急を中心に約20万床を削減する方針を打ち出し、地域ごとに再編統合や病床削減を押し付けようとしています。しかし、住民に深刻な影響を及ぼす削減計画は政府の思惑通りに進みません。それを今度の立法化で一気に押し進めようというのです。

消費税財源に病床削減

コロナ禍で病床がひっ迫し、各地で患者が行き場を失う状況に陥ったのは、医療機関に余力がなかったためです。すでにギリギリの地域医療体制のもとで、さらなる病床削減を迫ることは、力をそぎ落とすことにしかありません。原資に消費税増税分をあてるということも大問題です。「社会保障のため」という増税の口実はいよいよ成り立ち

ません。

碧南市民病院含む400病院リスト

政府は2019年、再編統合の対象として約400の公立・公的病院のリストを公表しました。ここには懸命にコロナ対応をしている病院も多く含まれます。コロナ禍でも政府はリストを撤回しません。地域医療を守る拠点の病院の機能を弱めることは許されません。

1988年5月	16科200床で診療開始
1989年6月	230床→7月235床
1990年5月	247床
1990年6月	282床
1991年5月	312床
1992年5月	330床
2008年1月	320床
2019年9月	289床31床減のリニューアル計画発表
2020年11月	255床65床削のリニューアル計画発表

全国から病院守れの声

全国自治体病院開設者協議会などは昨年11月、政府への要望書で、コロナ禍を踏まえるなら再編議論を性急に進めるのではなく、単に効率性、経済性のみを追求するのではない医療体制の再構築を求めました。法案を議論した昨年12月の厚生労働省の会議でも、「地域医療崩壊を加速させる」全国市長会）「再編整理の話を持ちかける、あるいは調整するなどということには全くナンセンス」全国知事会）など厳しい意見が出されました。政府の乱暴なやり方に道理はありません。病床削減推進法案」には、医師数の増員に背を向け、勤務医の長時間労働を温存・加速する内容も盛り込まれています。医療の拡充を願う国民の声に逆らう法案の強行は許されません。

国民的運動で阻止しよう

「高齢者医療費2倍化法案」も近く審議入りが見られています。約370万人の窓口負担を1割から2割に引き上げることは、深刻な受診抑制を引き起こし高齢者の健康と命を危険にさらします。同法案には国民健康保険料（税）引き上げを誘導する仕掛けもあります。医療破壊をストップし、医療に手厚い政治へ切り替える国民的運動を広げることが急務です。

**戦争法廃止
改憲許すな19行動**
4月19日（月曜日）
午前11時～12時 ヤマナカ前にて



比例東海予定候補
しまづ幸広 = 前衆院議員
もとむら伸子 = 衆院議員
長内 史子 = 32歳



日本共産党碧南市会議員団のホームページを新しくしました。ごらんください。

新しい日本をつくる五つの提案

- 新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
- 憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
- 覇権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換
- 地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
- ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切に

にし個人の尊厳を尊重する政治

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

**市民と野党の共同で
来る総選挙での政権交代を**